

あかまつ きよぼく
赤松の巨木

- ◇ 指定日 平成10年10月1日
- ◇ 所在地 小田代
- ◇ 所有者 個人

小田代にある赤松は幹の周囲約3.8m、高さ35～40mで、推定樹齢は約200年とされています。田老地域では最も大きなアカマツといわれています。

舗装された道からやや急な小道を登ったところ、林のなかにあるため全体像を一目で見るのは難しいかも知れません。ただ、その分だけ周囲の木で守られ、強い風にも耐えることができるといえます。

マツはマツ科マツ属の総称で、常緑で一年中濃い緑で暑さ寒さにも耐えるため、古くから神霊が宿る木として神聖視されてきました。

「まつ」を「待つ」にかけ、この木に神が降るのを待つとする考えもあったようです。

現在でも門松として飾られ、長寿、不変の象徴にもなっています。

